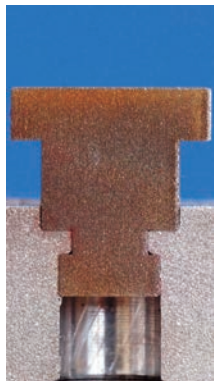


昭和21年に伸銅問屋として創業し、本年で創業70周年を迎え、マルチマテリアル設計に対応するiMPACT 技術を事例として、人の困っている事を聴き、知恵と経験で、その場の中で擦り合せて技術を開発し完成を見出す企業です。



異種材料接合技術 接合断面



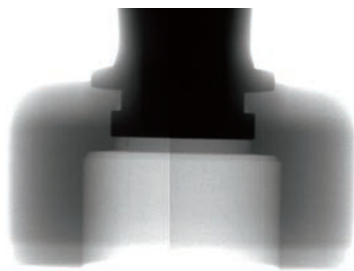
異種材料接合技術 製品事例

得意な技術・製品

- 塑性流動を利用した異種材料接合技術である「iMPACT 工法（当社特許技術）」にて、適材適所のマルチマテリアル設計に対応できる接合技術を開発。
- 光学関連、工作機、軽量ギアなどに採用され、現在は軽量化設計に貢献すべく輸送機関連に挑戦をしております。

主要な技術・製品

- 異種材料の接合は、素材の持つ融点の差異から既存の溶接技術の採用は困難です。
- 現在は、ボルトナットのネジ締め、有機溶剤を使用した接着剤、摩擦を応用した摩擦圧接などが主流となっており、適材適所のマルチマテリアル設計では、接合方法が大きなハードルとなっています。
- 当社の塑性流動を利用した異種材料接合（当社特許技術）は、マルチマテリアル設計の完成に向けた、ひとつの有効な手段であると考えています。



シャフト部(SUS303)とフランジ部(A20217)が、固着されている状態を、X線写真にて確認
異種材料接合技術 X線写真

- 生産拠点、研究体制：盛里工場（山梨県都留市）、高尾研究所
- 主要設備：旋盤、マシニング、プレス、検査装置（X線含む）
- 得意な顧客、市場分野：光学現像、医療関連、放熱対策、伸銅品材料
- 主要取引先（企業名）、顧客構成：リコー、セントラルユニ、NEOMAX エンジニアリング、コニカミノルタ
- 今後開発・獲得したい技術、挑戦したい産業分野
技術→マルチマテリアル設計の考えから、幅広い技術を知りたい
産業分野→iMPACT を利用できる分野 輸送機関連に注目している

海外展開事例、海外拠点 ▶ 中国（东莞市）の姉妹企業にて、iMPACT 製品を量産製造
受賞履歴（直近 3 ～ 5 年以内）▶ 2016年日本発明大賞発明功労賞、2015年軽金属溶接協会技術賞、2014年日本アルミニウム協会協会技術賞

クボキンゾク カブシキガイシャ

久保金属 株式会社

- 資本金：1,960万円
- 従業員数：14人
- 設立年度：1956年
- 連絡窓口（名前）：久保祐一

所在地：〒193-0832 東京都八王子市東浅川町539-2

電話：042-661-1165

FAX：042-664-0645

<Eメール>
kubo-y@kubokinzoku.com

<ホームページ>
<http://www.kubo-kinzoku.com/>